第28回

長野能

能楽「世界無形文化遺産」

今回は野村萬斎の出演はございません。

定期公演

能 巻絹 神楽留 ― 武田友志

狂言 蚊相撲 ― 野村裕基

能 熊坂 ― 松木千俊

令和3年
2月28日 日
12時開場　午後1時開演
ホクト文化ホール大ホール
（長野県県民文化会館大ホール）
〒380-0928　長野県長野市若里1-1-3

撮影：能（巻絹）前島吉裕
　　　能（熊坂）前島吉裕

◆主催　長野県能楽連盟

◆後援　長野県教育委員会　長野県芸術文化協会　長野市教育委員会　長野市文化芸術協議会　信濃毎日新聞社

番組

（開演午後一時）

お話　武田　文志

連吟

國栖

早津　光義
雪入　勘次
仁井田　邦道
依田　明子
関川　豊春
村石　武志
石川　雄二
児玉　光男

仕舞

花月　キリ　武田　章志
敦盛　クセ　兒玉　敏一
天鼓　松木　崇俊

地謡　武田　崇史　武田　宗典　武田　文志　小早川　泰輝

能

巻絹　神楽留

都ノ男　関根　祥丸
巫女　武田　友志
臣下　宝生　欣哉
下人　中村　修一
後見　武田　祥照　山階彌右衛門
大鼓　亀井　広忠
小鼓　飯田　清一
太鼓　林　雄一郎
笛　杉　信太朗
地謡　近藤　豊　山崎　佑司　小早川　泰輝　佐川　勝貴　武田　宗典　坂口　貴信　武田　宗和　長山　桂三

狂言

蚊相撲

大名　野村　裕基
太郎冠者　高野　和憲
蚊の精　野村　太一郎
後見　飯田　豪

—休憩　二十分—

仕舞

嵐山　馬野　正基
遊行柳　クセ　武田　志房
笹之段　観世　喜正
融　山階彌右衛門

地謡　関根　祥丸　武田　宗典　坂口　貴信　武田　祥照

能

熊坂

僧　熊坂長範　松木　千俊
旅僧　大日方　寛
里人　内藤　連
後見　馬野　正基　武田　宗和
大鼓　亀井　広忠
小鼓　飯田　清一
太鼓　林　雄一郎
笛　杉　信太朗
地謡　松木　崇俊　海野　義元　武田　崇史　佐川　勝貴　長山　桂三　観世　喜正　武田　志房　武田　文志

附祝言

（終演予定　十七時）

上演曲解説

能

巻絹（まきぎぬ）

帝に仕える臣下（ワキ）が登場し、帝の霊夢により全国から巻絹を熊野大社へ奉納する旨の命令があり、自分がその役を仰せつかったことを語ります。しかし、都から来るべき巻絹が遅くなっているので、都から巻絹が来たら自分に知らせるよう従者（間狂言）に言いつけます。

すると都からの巻絹を持った男（ツレ）が登場し、旅の途中で音無の天神で梅が美しく咲いているのを見つけ、心中で和歌を詠み手向けます。その後に熊野大社に向かうと先程の臣下に遅参を咎められ、縄で拘束されてしまう。そこへ神がかった巫女（シテ）が現れ、男の免罪を求めます。巫女は男が和歌を天神に捧げた為に遅参したことを述べ、男が心中で詠んだ和歌を言い当てます。驚いた臣下は男を許し、巫女は和歌の徳を称える舞を舞い、神楽を舞って熊野大社に捧げます。巫女は神楽を舞う間に神がかりして狂乱しますが、最後には神がかりはとけ、巫女は正気に戻ります。

今回は「神楽留」の小書（特殊演出）が付いておりますので、巫女（シテ）の装束が通常の姿と変わり、また神楽が短くなり途中で神がかりになった態となります。

狂言

蚊相撲（かずもう）

大名が新しい召使を抱えようと、太郎冠者に探しに行かせる。そこへ、都に上り人の血を吸うため、人間の姿になった江州守山の蚊の精が通りかかり、正体に気づかない太郎冠者は蚊の精を連れ帰る。新しい召使は相撲が得意と聞き、喜んだ大名は早速取らせて見たいと思うが、相手がいないのでやむなく自身で相手をすると、蚊に刺されて目を回してしまう。蚊の正体に気づいた大名は、勝つためにあるものを持ち出すのだが…。人間である大名と蚊の精が相撲をとるという、何とも奇想天外な作品です。大らかな大名と、蚊の特徴がデフォルメされた蚊の精の動きにご注目下さい。

能

熊坂（くまさか）

僧（ワキ）が旅の途中、美濃国赤坂（岐阜県大垣市）にさしかかります。そこに僧の姿をした者（前シテ）が現れ、「今日はある人の命日なので弔ってほしい」と旅僧に声をかけ、庵に案内します。その庵の持仏堂には長刀など大量の武具が置いてあり、これに驚いた旅僧はその理由を尋ねると、庵主の僧はこの辺りは盗賊がよく出没するので、それに襲われた人を助けるために持っていると答え、仏も仏敵を降伏させるために武器を携えていると語り、夜が更けるとともに庵主も庵室も消えます。（中入）

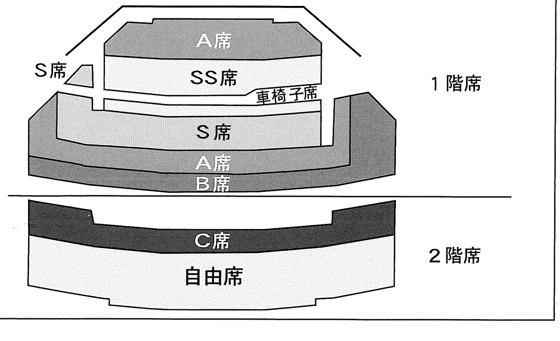
その夜、旅僧は里人（間狂言）から赤坂で死んだ大盗賊熊坂長範（くまさかのちょうはん）の事を聞き、先ほどの僧は熊坂の幽霊であったと思い、回向を始めます。すると熊坂の幽霊（後シテ）が在りし日の姿で現れ、牛若丸一行を赤坂の宿で襲ったが、逆に返り討ちにされてしまったことを仕方話で物語り、回向を頼み夜明けとともに消えていきます。

能面展

能は複合芸術で、役者の演技だけでなく能楽堂の建築、装束、面、楽器など色々な要素があります。

そのなかで一般の方に一番目につくのは能装束と能面といわれています。この機会に能面を十分ご鑑賞ください。

ホクト文化ホール 大ホール〔座席表〕



観能券料

SS 指定席	7,500円
S 指定席	6,000円
A 指定席	5,000円
B 指定席	4,000円
C 指定席	3,000円
自由席	2,000円
車椅子席 （介助者1名含む）	4,000円

お申し込み・お問い合せ先

ご購入窓口
ホクト文化ホール 電話 026-226-0008

お問合せ
長野能実行委員会 電話 080-1330-6807

12月19日(土)午前10時 発売開始　お申し込みはお早目に！